

新規 LNG プロジェクトの最新動向と今後の事業戦略

— 講師 — 和光大学 経済経営学部 教授／石油技術協会 資源経済委員会 委員長 岩間 剛一 氏

日時	2026年5月28日(木) 午後2時～5時
受講方法	会場受講／ライブ配信／アーカイブ配信(2週間、何度でもご視聴可)
会場	紀尾井フォーラム 東京都千代田区紀尾井町4-1 ニューオータニガーデンコート1F

[重点講義内容]

米国、イスラエルによるイランへの軍事攻撃により、カタールの年間 7,700 万トンの LNG 輸出プロジェクトは、フォース・マジュール(不可抗力)宣言を出し、国際 LNG 市場は需給逼迫に直面している。しかし、長期的には、炭酸ガス排出削減の切り札として、LNG 需要は増加が見込まれている。ロシア産天然ガスの禁輸、トランプ政権の新規 LNG プロジェクトの凍結解除等により、世界の新規 LNG プロジェクトは活況を呈している。2030 年に向けて、世界の LNG 需要は増加し、それに応えるために米国における新規 LNG プロジェクトの開発、既存 LNG プロジェクトの拡張が、相次いで行われている。米国のシェール・ガスを原料とした LNG プロジェクトに加えて、アラスカ北極圏の天然ガスによる LNG については、日本の東京ガス、JERA も関心表明を行っている。カタールの拡張工事も行われ、三井物産が参画するモザンビーク LNG も建設工事を再開する。従来から、脱炭素の流れにおいて、炭酸ガスの排出量が石炭の半分程度と優れた環境特性をもつ天然ガスは、トランジション・エネルギー(橋渡しのエネルギー)としての需要が期待されている。石油メジャーのシェールによる予測では、世界の LNG 需要は現在の年間 4 億トンから 2040 年に年間 7 億トンに増加すると見込まれており、強気の見通しでは 2040 年に年間 8 億トンを超える。2025 年には、LNG 調達先の多様化を求めて、三菱商事、三井物産等は、インドネシア、UAE(アラブ首長国連邦)、カナダ、マレーシアの新規 LNG 開発を表明している。LNG カナダは、LNG の出荷を開始している。

有力 LNG 輸出国カタールは、2024 年 2 月 26 日に、従来の世界最大の天然ガス田ノース・フィールドの東部、南部に加えて、西部の LNG プロジェクトの開発構想を発表した。カタールは、LNG 生産能力を現在の 7,700 万トンから 2030 年に 1 億 4,200 万トンに増強し、世界最大の LNG 輸出国奪回を目指している。トランプ政権は、米国のシェール・ガスを原料とした LNG プロジェクトの輸出を米国の貿易収支改善の切り札として、各国に LNG 購入を呼びかけている。それと同時に、石油メジャーは、天然ガスの液化プロセスを、従来のガスタービンから太陽光発電による電動化により炭酸ガスの排出を削減し、CCS(炭酸ガス回収・地下貯留技術)と組み合わせ、よりカーボンニュートラルな LNG の生産によって、炭酸ガス排出削減を求める新たな需要家を開拓しようとしている。米国は、シェール・ガスを原料とした LNG の輸出量が、2024 年に 8,540 万トン、2025 年に年間 1 億トンに達し、豪州、カタールを抜いて世界最大となり、ロシア産天然ガス脱却を目指す欧州諸国の重要な LNG 供給源となっている。EU(欧州連合)は、2027 年末にロシア産天然ガスの輸入を取りやめる方針にある。新型コロナウイルスの感染拡大により 2020 年 4 月に百万 Btu(ブリティッシュ熱量単位)当たり 1.825 ドルに暴落した極東アジア LNG スポット価格は、ウクライナ危機を受けて 2022 年 3 月には百万 Btu 当たり 84.8 ドルと史上最高値をつけ、2025 年 11 月中旬時点においても百万 Btu 当たり 11 ドル台と高値をつけている。欧州諸国の天然ガス指標価格オランダ TTF も、2022 年 8 月には百万 Btu 当たり 94 ドルを超えた。その後、欧米諸国の冬が温暖であり、暖房需要が減少したことから、2025 年 11 月には、百万 Btu 当たり 11 ドルに低下している。しかし、長期的な LNG 需要の増加、LNG スポット価格の上昇を受けて、米国をはじめとして、新規の LNG プロジェクトが相次いで着工への動きを始め、中国、欧州諸国が、米国、カタール等と LNG 購入の長期契約を締結している。

カタールも意欲的な LNG 生産能力増強計画を打ち出し、日本の千代田化工連合は年間生産能力 3,200 万トンの液化プラントを 130 億ドル(約 1 兆 7,550 億円)で受注している。2025 年 8 月には日揮が、LNG カナダの拡張工事の基本設計(FEED)を受注した。LNG は、脱炭素へのデスティネーション・エネルギー(最終目的のエネルギー)としての評価が定まり、IEA の 2025 年 11 月の見通しにおいては、2050 年まで世界の天然ガス需要は増加を続ける。中国は、炭酸ガスの排出削減、大気汚染防止策から、LNG 輸入を増加させて、世界最大の LNG 輸入国に返り咲いた。2026 年の冬に向けて、欧州諸国、米国の暖房需要の増加、アジア諸国の LNG 火力発電への動き、電力需給逼迫等により、極東アジア LNG スポット価格は、再び上昇する可能性が考えられる。

LNG は、豪州、米国をはじめとした相次ぐ新規 LNG プロジェクトの稼働開始により、数年前には余剰であると見られていたものの、欧州諸国におけるロシア産天然ガス輸入量(LNG 換算年間 1 億 1,400 万トン)相当の LNG 特需の発生、中国をはじめとしたアジア諸国の経済成長にともなう LNG 需要の増加により、2030 年頃まで LNG 需給逼迫が続くという見方に大きく変貌している。ロシアのサハリン 2 プロジェクト、アークティック 2 LNG プロジェクト等から欧米の石油メジャー(国際石油資本)が撤退し、サハリン 2 をはじめとしてロシアの LNG プロジェクトへのリスクが強まるなか、米国、カタール、UAE、モザンビーク、カナダ、インドネシアをはじめとした新規 LNG プロジェクトの今後の動向はどうなるのか。LNG 価格の 2026 年における見通しと、脱炭素への新規 LNG プロジェクトに関連する日本企業の事業機会について分かりやすく説明する。

1. ウクライナ危機の長期化と欧州の脱ロシア産天然ガス—欧米の天然ガス在庫
2. LNG スポット価格の要因と今後—2025 年の寒波来襲と 2026 年の気温
3. 長期的な天然ガス需要、LNG 需要の見通し—世界は再び天然ガスに
4. 欧州諸国と中国の LNG 需要の見通し—欧州諸国による脱炭素戦略
5. アジア諸国における LNG 需要の見通しと日本の LNG 経済圏
6. 米国の新規 LNG プロジェクトの最新動向—トランプ政権と LNG 輸出増強
7. 米国の LNG プロジェクトへの日本による経済支援策—アラスカ LNG
8. 米国に抜かれた豪州 LNG プロジェクトの今後の見通し—LNG 自国優先
9. カタールの LNG 生産能力拡張計画の見通し—カタール事業のチャンス
10. UAE における新規 LNG プロジェクトと炭酸ガス排出削減プロセス
11. ロシアの LNG プロジェクトのリスクと今後の見通し—アークティック 2
12. モザンビーク LNG の今後の見通し—不可抗力宣言の解除
13. 日本企業によるアセアン諸国への LNG 火力発電プロジェクトの見通し
14. 日本企業による米国の天然ガス火力発電ビジネス—AI による電力需要
15. カーボンニュートラルと LNG の現状と今後の見通し—CCS と電動化
16. LNG 燃料船、LNGトラック等による炭酸ガス排出削減
17. 2026 年における LNG 需給と LNG 価格の見通し—2026 年冬の LNG 価格
18. 資機材価格と人件費の高騰に直面する LNG プロジェクトへの経営戦略
19. 新規 LNG プロジェクトを取り巻く日本企業のとるべき事業戦略
20. 質疑応答／名刺交換

PROFILE 岩間 剛一(いわま こういち)氏

1981年 東京大学法学部卒業。東京銀行(現三菱UFJ銀行)入行。東京銀行本店営業第2部部長代理(資源エネルギー融資、経済産業省担当)。東京三菱銀行本店産業調査部部長代理(資源エネルギー調査担当)。出向:石油公団企画調査部:現在はエネルギー・金属鉱物資源機構(資源エネルギー・チーフ・エコノミスト)。出向:日本格付研究所(チーフ・アナリスト:ソブリン、資源エネルギー担当)
2003年から和光大学経済経営学部教授。
著書:「資源開発プロジェクトの経済工学と環境問題」、「ガソリン本当の値段」、「石油がわかれば世界が読める」、その他、新聞、雑誌等への寄稿、テレビ、ラジオ出演多数。

●受講料	各受講方法 1名につき 34,650円(税込) 同一のお申込フォームよりお申込の場合、2人目以降 27,500円(税込) ※会場又はライブ配信受講者様で、アーカイブ配信もご希望の場合は追加料金11,000円(税込)で承ります。
●お申込方法	二次元バーコード、又はFAXにてお申し込み下さい。 折り返し受講証、請求書、会場地図(会場受講のみ)をメール(PDF)にてお送り致します。 お申込み後、3営業日以内にお手元に届かない場合は必ずご一報下さい。 (セミナー会場にて受講される方は受講証画面を提示、もしくはプリントアウトしてご持参下さい) ※お客様のご都合でキャンセルされる場合は、「開催1週間前まで」にお申し出下さい。 その後のキャンセルは、お申し受けできませんのでご了承下さい。
●お支払方法	請求書を発行いたしますので、開催日までに銀行振込でお願いします。(遅れる場合はご相談下さい)

事前に、セミナー講師へのご期待、ご要望、ご質問をお受けしております。
可能な限り講義に盛り込んでいただきますので、お申し込み後、弊社からご連絡するメールにご返信下さい。
■ライブ配信について
<1>Zoomにてライブ配信致します。
<2>お申込時にご登録いただいたメールアドレスへ視聴用URLとID・PASSを開催前日までに送り致しますので、開催日時にZoomへご参加下さい。
■アーカイブ配信について
<1>開催日より3~5営業日後を目安にVimeoにて配信致します。
<2>お申込時にご登録いただいたメールアドレスへ収録動画配信のご用意ができ次第、視聴用URLをお送り致します。
<3>動画は公開日より2週間、何度でもご都合の良い時間にご視聴頂けます。

5月28日(木)		「新規LNGプロジェクトの動向と事業戦略」		申込日	月	日
貴社名						
所在地	〒					○印をお付けください(ご自宅・お勤め先)

いずれかの口必ずをお入れ下さい。(アーカイブ配信の追加受講をご希望の場合は、2つをお入れ下さい。)

<input type="checkbox"/> 会場受講	<input type="checkbox"/> ライブ配信	<input type="checkbox"/> アーカイブ配信
フリガナ氏名	所属部署・役職	
TEL () -	FAX () -	
E-mail	ブロック体でのご記入をお願いいたします。	

いずれかの口必ずをお入れ下さい。(アーカイブ配信の追加受講をご希望の場合は、2つをお入れ下さい。)

<input type="checkbox"/> 会場受講	<input type="checkbox"/> ライブ配信	<input type="checkbox"/> アーカイブ配信
フリガナ氏名	所属部署・役職	
TEL () -	FAX () -	
E-mail	ブロック体でのご記入をお願いいたします。	

※「受講証」等の送付先が上記と異なる場合は下記にご記入下さい。

通信欄	
-----	--

●E-mailアドレス登録受付&ご紹介キャンペーン実施中【Amazonギフト券(500円)を進呈いたします】
 セミナーへのお申込みではなく、メール配信登録のみの方は左記へを入れて下さい。
 ※携帯アドレス、フリーメールアドレスは登録対象外となっております。
 ※メール配信登録をご希望の方をご紹介下さい!ご紹介いただいた方にはAmazonギフト券(500円)を進呈させていただきます。
 ※上記お申込フォームに、ご登録情報(貴社名・所在地・氏名・所属部署・役職・メールアドレス)をご記入下さい。

詳細・お申込はこちら↓ ■主催(お申込み・お問い合わせ先) 株式会社 新社会システム総合研究所
お申込み受付 FAX 03-5532-8851
 〒105-0003 東京都港区西新橋2-6-2 ザイマックス西新橋ビル4階
 Tel:03-5532-8850/E-mail:info@ssk21.co.jp/URL:https://www.ssk21.co.jp
 ※配信停止、宛先変更、個人情報の苦情及び相談・開示は上記までご連絡下さい。 26286-E

